

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表(公表)

公表:令和6年3月27日 (16名 一部未記入あり)

事業所名 なのはな園

	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13	3		
	② 職員の配置数は適切であるか	4	12	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が少ない。(2件) ・誰も休まなければ良いが、体調の悪い職員や休みの職員がでると心配な時がある。 ・今年、欠員が出たことはイレギュラーだったが、ギリギリでの保育も少なくなかった。改善したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前もって人員を確保しフリー保育士を配置する。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	8	<ul style="list-style-type: none"> ・構造化されていない。 ・担任の工夫次第でもあると思うが、もう少し視覚的にわかりやすく(並ぶ場所に足あとをはるなど)すると思う。 ・構造化への取り組みとして、それぞれの子への環境づくりをする状況にはなっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの子のアセスメントとあわせて、合理的配慮(視覚的支援、構造化などを含めて)についても検討していく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	8	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが不衛生。 ・トイレが狭い。介助するスペースがなくて大変。 ・トイレが暗く狭い。トイレトチェアなどを置くところがない。 ・毎日そうじの時間を必ず確保していたのがよい習慣だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの暗さについては、電球ではなく設備の問題なので、それ以外の工夫を考える。 ・寝返りする子どももいるため、床の掃除は特に気をつけていく。
業務改善	⑤ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	16	0	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように改善しているのか、事業所職員にも示してくれるとよいと思う。 ・日々のミーティングなどを情報共有の場としているが、評価がいかん反映されているかがつかめない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の実施 ・ホームページに公表と共に、職員会議でも共有している。 ・今後とも保護者の評価を実施し意向を把握、改善へと取り組み職員とも共有していく。
	⑥ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	13	3		<ul style="list-style-type: none"> ・法人のホームページに公表している。今後も事業所の自己評価を踏まえ支援の質の向上に努める。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	13	3		<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価を行いながら業務改善へ取り組んでいきたい。

	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	16	0	・発達や実践における研修がほしい。 ・行くように言われた職員が行くため、決められた職員しか行けない。	・法人内研修や園内研修等計画をつくっている。研修計画に基づき職員の意向も踏まえながら取り組みたい。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもの保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	13	3		・定期的な面談や日常の相談などで聞き取りをする。 ・子どもや保護者の願いや意向に丁寧に向き合いながら取り組みたい。
	⑩	個別支援計画には、具体的な支援内容が設定されているか	16	0		・子ども一人ひとりの興味関心を大事にし、具体的に設定している。
	⑪	個別支援計画に沿った支援が行われているか	16	0	・非常勤職員への伝達が不十分。	・非常勤職員を含めて、日々取り組みを子どもの姿から振り返り共有するための時間の確保に努める。課題や取り組みをもっと意識し取り組んでいく。他職種と共有を深めていく。
	⑫	活動プログラムの立案をチームで行っているか	13	3		・クラスごとに話し合い立案している。今後もチームワークを大事に取り組みたい。
	⑬	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	14	2	・リーダーが設定することが多い。	・子どもの興味関心を大事に他施設での取り組みなどを参考にするなどしている。職員間で日々のプログラムの共有と振り返りを行いながら他職種と連携し取り組んでいく。・日々の保育においても、リーダーを交代し、職員皆で考えていく体制作りをしていく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	16	0		・集団で遊ぶあそびの課題と個々の課題をあわせて作成している。子ども同士のつながりを意識した保育を職員間で考え取り組んでいる。活動内容をより共有できるようにチームで考えていく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	4	・できていない日もある。	・確認や共有できるようにクラスごとの保育日誌や話し合う時間を作る工夫をする。行事などは事前の全体周知事項の確認時間を大事にする。確認や報告など自ら積極的に取り組む。
	⑯	支援開始後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	4	・非常勤を含め”必ず”は難しかった。できる日・特記があった日は自然とできたように思う。	・共有できる時間としてクラス会議の定期開催の数を増やしてきた。その日にできなくとも、話し合う時間を取り、取り組みがつながるよう意識を高める時間を作り。伝えあう努力を今後もしていく。
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	16	0		・改善に努めるようにしている。その日のことは、特記として記録に残している。 ・日々、記録を記入し整理している。自分のクラス以外の状況や子どもについても主体的に共有していく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12	4	・今回導入されるアセスメントシートが定期的な見直しにつながると思う。 ・定期的にできていない。	・日々の子どもの姿から見直し取り組むよう努力している。子どもの姿の事実をしっかりとらえ検討できる力量をつけていく。
		障害児相談支援事業所のサービ			・わからない。	・話し合いに必要なメンバーが

保護者等への説明責任等	②9	支援の内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	16	0		を得ている。子どもの姿を共有し保護者の意見を聞きながら同意を得られるよう向き合う。
	③0	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	15	1	・新人にできることは少ない。	・主に担任や主任がタイムリーに対応できるよう取り組んでいる。適切に必要な支援ができるよう情報の共有や取り組みを迅速にする。 ・新人の育成をていねいに進めていく。
	③1	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	15	1	・父の会でできていない。 ・自発的なつながり支援のための場の提供があるとよい。	・コロナ禍で取り組みが少なかったができる中で母の会の役員会などを開催してきた。母の会、家族参観など保護者が関わり合う時間を大事に取り組む。
	③2	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	0		・保護者とのやり取りを間違わないよう記録し共有し、タイムリーに相談等をう。 ・タイムリーに動けるよう日ごろから他機関との連携などを心がける。 ・電話や面談など、聞き取りを迅速にし保護者の悩みが大きくなるよう取り組む。
	③3	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	15	1	・保護者への行事等の連絡が遅い。	・毎月、お便り、保育計画、献立など配布している。 ・今年度は、コドモンを使用し緊急時などはタイムリーに発信をしてきたつもりだが、連絡をもう少し早くすることをこころがけていく。
	③4	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	15	1	・個人情報が書かれているものが、ふせずに机に置かれている。	・職員一人一人の意識を高めていけるよう研修等も含め取り組む。
	③5	障害のある子どもや保護者との意見の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	16	0		・面談や家庭訪問など保護者の話を聞く機会を大事にしている。面談や家庭訪問など保護者の話を聞く機会を大事にしている。今後も考えや意見等を聞く機会を大事にする。
	③6	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	7	・コロナでできなくなった。 ・(26)と同じ。コロナのこともあり、機会が失われがちだが、行えたらいいと思う。	・コロナ禍で難しかったが、近隣にお知らせを届けに行くなどかかわりをつくってきた。感染症の状況を見ながら、行事などへの招待など検討していく。
	③7	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	15	1	・まだ、不十分なところがある。保護者への周知が甘い。 ・避難訓練や感染症への対応がしっかり行えていてよいと思う。発作などへの対応は、いざとなった時、不安なので、1度きりの研修ではなく、何度か行うことができたらなおよい。	・様々な想定のもとに毎月避難訓練を実施している。 ・災害時のマニュアルについては保護者に説明している。いつでも確認できる場所に置き意識を高める。 ・保護者への連絡の徹底や職員の研修に努めていく。
	③8	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	16	0		・毎月行っている。様々な想定の下に訓練を計画し実施していく。
	事前に、服薬や予防接種、てん			年度初めからのものになって	・年度初めの準備を早急にす	

非常等の対応	③⑨	かん発作等の子どもの状況を確認しているか	16	0	いない。	る。
	④⑩	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	16	0		・検査に基づき指示書をもらい対応している。保育者と連絡相談を密にしながらこれからも留意をし対応していく。
	④⑪	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	16	0		・作成だけにならないように気をつけていきたい。/・小さなものも書面を出しその日に共有できるよう取り組んできた。小さな気づきを大事にし、大きなけがにつながらないよう緊急対応を整備し取り組む。
	④⑫	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	16	0	・判断に迷うところがある。時代の変化のとらえ方が変化している。	・内部研修で積み重ね、職員の意識を高めていく努力をしてきた。日々の支援の中の具体的なケースについて取り組んでいく。職員間のコミュニケーションを深めていく。

○この児童発達支援自己評価は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「課題や改善すべき点」「工夫している点」等について記入してください。